

# 事業通信 <sup>2025</sup> vol.6



発行 / 西日本区事業主任  
編集 / 西日本区理事事務局

## 献金についてのおはなし。

### 献金についてのお話

ワイズメンズクラブの会員は、クラブ会費や区費（エリア会費・国際会費含む）の他に、区内で実施の YMCA サービス事業・ユース事業や地域奉仕活動事業に加え、国際協会の枠組みや海外の YMCA・クラブで実施の奉仕活動や災害支援、マラリア撲滅等の事業を支援するための献金が求められます。

献金を行うかどうか、献金額は会員の自由ではありますが、会員ひとり当たりの献金額の目標が西日本区事業として示されています。

### 2024-2025 年度 西日本区事業目標

YMCA サービス・ユース献金（国際 ASF 含む） 1 人あたり 2,700 円	Y E S（Y's Extension Support）献金 1 人あたり 500 円
地域奉仕活動（CS）献金 1 人あたり 1,000 円	R B M（ロールバックマラリア）献金 1 人あたり 500 円
T O F（Time of Fast）献金 1 人あたり 1,000 円	災害支援金 合計 200 万円
F F（Family Fast）献金 1 人あたり 300 円	E（Extension）新クラブ設立 1 クラブ
B F（Building Fellowship）献金 1 人あたり 1,500 円	MC（Membership & Conservation） 会員増強 前期末+50 名
E F 献金（Endowment Fund） 記念ごとに献金 1 口 120CHF 合計 3,000CHF	情報発信 区報年 3 回/理事通信 12 回
J W F（Japan West Y's Men's Fund）献金 記念ごとに献金 1 口 5,000 円目標 合計 50 万円	L T（Leadership Training）次期役員研修会、 次期会長・主査研修会、拡大研修会（仮称）

各種献金の期限は、

# 2025年3月15日(土)

までとなっております。

# YMCA サービス・ユース事業通信



2024-2025年度  
YMCAサービス・ユース事業主任

**上杉 徹 (神戸西)**

事業主題 **新しい時代をYYYと共に  
“Through The Past, Darkly”**

今期の YMCA サービス・ユース事業主任として YMCA とワイズメンズクラブ、ユースが連携し「子どもと若者の未来が輝く社会（より良い世界をきづくこと）」を目指して、新しい時代の一步を踏み出します。

## 【YMCAサービス・ユース献金】

1人あたり

**目標: 2,700円**

### YMCAサービス・ユース事業献金の趣旨

ユースとYMCAの活動がワイズメンズクラブの支援を通して活性化しています。今期に募集し、次期開催予定のAYC2025熊本の実行委員会に参加しました。実行委員のユースが考えたディスカッションのテーマ「我々はどこから来たのか。我々は何者か。どこに向かうのか」とポール・ゴーギャンの作品の題名を用いてユースが「平和」について自分たちが何を行い、どの様に行動していくのかを語り合います。また、京都部では子どもたちの活動拠点であるリトリートセンターのワークキャンプや改修工事、広島YMCA、YMCAせとうちでの「Y's x SDGs Youth Action」事業、名古屋や神戸のYYYフォーラム、にも使わせていただいております。それぞれの事業では、今日的な課題に取り組むユースとワイズメンズクラブ、YMCAの協働する姿を見ることが出来ました。この様にユースの活動、今後の「Y's x SDGs Youth Action」事業の企画立案も含め、次代を担うユースの活動支援が求められています。今期、YMCAサービス・ユース事業献金額をお一人2,700円、目標金額も3,526,200円としております。今後も各部・各クラブにおいてユースの活動支援を行うことで、YMCAの活性化とワイズの次世代育成、未来を輝かせる「ユースエンパワーメント」の土台作りが出来ます。ぜひ、ご協力ください。

## 【ASF募金について】

このアレキサンダー奨学金(ASF)も70年目の節目を迎えますが、主にYMCAスタッフやYMCAに繋がるユースのための奨学金や研修プログラムを提供し、世界各地のYMCAを財政的に支援してきた歴史のある募金です。



# 地域奉仕・環境事業通信

2024-2025年度  
地域奉仕・環境事業主任

鳥居 翠 (大阪なかのしま)

事業主題 『地域・環境について楽しく考える』

「地域奉仕活動事業に関わる献金は複数種類があり、それぞれの趣旨と目的に沿った使い方がされております。それぞれの献金の目的や用途をご理解いただき、出来るだけすべての献金への100%達成をお願いいたします。以下に各献金の概要をお知らせいたしますが、特に国際に関わるTOF、RMB献金は、普段馴染みの少ない会員の方もおられるかと思い、少しだけ詳しくご説明させていただきます。

## 【地域奉仕活動献金】

1人あたり

目標: 1,000円

地域奉仕事業献金の趣旨

地域奉仕活動献金はクラブや部などの地域奉仕活動に資する事業や国内だけでなくIBC先等との国際奉仕活動などへの使用の他、災害支援などへも使用されております。

## 【FF献金】

1人あたり

目標: 300円

FF献金の趣旨

FF献金は西日本区独自の献金で、日本でも支援を必要とする子供たち向けの事業を行った場合にFF 資金での支援を行います。毎年、いくつかのプロジェクトを FF資金で支援しております。

## 【RBM献金】

1人あたり  
目標: 500円

### RBM献金の趣旨

---

Roll Back Malaria (RBM) は、マラリアの撲滅を目指す世界的な取り組みで、マラリアの死亡率を削減し、感染症の予防や治療へのアクセス向上を主な目的とした世界的な枠組みです。目的達成に向け、以下のような取り組みを行っています: 1. 予防策の強化: 虫除け、蚊帳、予防的治療など 2. 診断と治療の改善: 早期の診断と適切な治療や、治療に関するガイドライン 3. 知識と意識の向上: マラリアに関する情報を普及し、個人やコミュニティの意識を高めます。4. 資源確保: 対策に必要な資金やリソース確保の促進。

ワイズメンズクラブ国際協会では、世界のロールバックマラリアパートナーシップに加わりながら、RBM運動を推進し、皆さまから頂いたRMB献金を既に70万米ドル以上を拠出しています(2023年時点)。現在新たなステージとして、我々が1米ドル寄付すると2米ドルを寄付するDFID(英国の国際開発省)とのマルチステークホルダーパートナーシップを締結をし、戦略的なRMB活動を実施しています。

---

## 【TOF献金】

1人あたり  
目標: 1,000円

### TOF献金の趣旨

---

TOF 献金は、例会食事を抜いた食事代金相当額の献金を主としていますが、その限りではありません。皆様からの献金は西日本区から国際に送金されます。主にYMCAが運営する開発活動を支援する国際奉仕活動の1つで、世界YMCA同盟と各国のYMCA同盟との連携により、多くの国で教育や自助のプロジェクトに資金が提供されています。TOFのプロジェクトは、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の内、少なくとも1つ枠組に沿ったものでなければなりません。発展途上国での地域支援事業が比較的多いですが、その限りではなく、2024-25年には東日本区が申請した不登校生徒を対象としてプログラムへも資金が提供されています。別紙にて2024-25年度の承認プログラムを添付いたします。また、2月度の国際会長ニュースにもTOF関係の記事が詳しく掲載されておりますので、是非御覧ください。

---

# 【TOF献金の使途】

2024-25年度実施事業承認

## プロジェクト

### トウモロコシ(メイズ)製粉施設

申請者:韓国大邱ワールドワイズメンズクラブ&ザンビアYMCA協働/ザンビア

TOF資金は、トウモロコシの製粉設備の購入、その設置、および1年間の稼働に必要なリソース(電力および労働力)の支援を目的として要請された。

地元農家と協力しての製粉施設の整備、粉の迅速な生産を開始し、効率的な加工と複数回の生産サイクルを確保する。経済的に困難な状況にある世帯を特定し、貧困地域への小麦粉の配布を確保する。プロジェクト期間は36ヶ月。SDGs-2に該当 (15,000スイスフラン)

## プロジェクト

### 充実した YMCA 教育サポートとウェルネスプログラム

申請者:ジンバブエYMCA/ジンバブエ

若者の薬物や物質乱用が大きな問題となっているジンバブエでは、高い失業率がさらに事態を悪化させている。その結果、犯罪、違法な性産業、ジェンダーに基づく暴力など、さまざまな社会悪が引き起こされ、社会に悪影響を及ぼしている。その危険にさらされている青少年のための図書館と学習センターの設備にTOF基金が申請された。プロジェクト期間は12~18ヶ月。SDGs-4.に該当 (10,000スイスフラン)

## プロジェクト

### 長期にわたって不登校の生徒への対応

申請者:ワイズメンズクラブ東日本区&日本YMCA協働/日本

TOF基金は、構造と教育への復帰を目的とした、慢性的な不登校生徒を対象としたさまざまなセミナーやキャンプの運営に充てられる予定。プロジェクト期間は36ヶ月。

SDGs-4.に該当 (15,000スイスフラン)

## プロジェクト

### モラトワ地域社会のためのコンピューター学習

申請者:ヤングモラトワYクラブ&モラトワYMCA協働/スリランカ

モラトワの政府および民間部門の従業員と学生を対象としたIT教育クラスのためのコンピューター購入費として、TOF資金が申請された。プロジェクト期間は6~12ヶ月。

SDGs-11.に該当 (5,000スイスフラン)

## プロジェクト

### YMCAグローバル平和環境センター(GPEC)

申請者:アジア太平洋YMCA同盟&韓国YMCA全国協議会 協働/韓国

TOF資金は、例えば机、椅子の購入、オーディオやオンラインシステム、プロジェクター設置など、平和環境センターの設備充実に用いられる。このセンターでは多くのユースが学習する場となる。

プロジェクト期間は6~12ヶ月。SDGs-13.に該当 (15,000スイスフラン)

## プロジェクト

### ワイズメンの村

申請者:ドバイワイズメンズクラブ&中東区協働/インド

TOF資金は、現在、安全な住居を確保できていない家族を持つ未亡人のために、質素な住宅5軒の建設を支援するために要請された。

プロジェクト期間は12~18ヶ月。SDGs-10に該当 (15,000スイスフラン)

## プロジェクト

### 社会的弱者となった女性の技能訓練

申請者:ロイヤルズ マベリカラ ワイズメンズクラブ/インド

TOFの資金は、高度な裁縫や刺繍のトレーニングを提供するための機械やトレーナーの費用を含め、訓練センター設立の支援に要請された。

プロジェクト期間は36ヶ月。SDGs-8に該当 (15,000スイスフラン)

## プロジェクト

### 希望の回復

申請者:バルパライソ ワイズメンズクラブ&バルパライソYMCA協働/チリ

TOF資金は、2024年1月のバルパライソ周辺の山火事の被災者に対し、食料、医薬品、一時的な宿泊施設を提供するため要請された。

プロジェクト期間は12~18ヶ月。SDGs-1に該当 (15,000スイスフラン)



2024-2025年度  
EMC事業主任

**清水 真一 (大阪茨木)**

事業主題

『ワイズメンズクラブの認知・理解・共感・参画を100%促進』

# EMC 事業通信

## 【YES献金】

1人あたり  
**目標:500円**

「新クラブ設立のため、新クラブ設立準備のため、新しい仲間を増やすためのYES献金」

### (1)YES(ワイイーエス)献金とは？

ワイズメンズクラブには多くの献金(Yサ、CS、TOFなど)があります。そして各献金に各クラブや部の事業への支援金等へ使用されています。一方、YES献金についてはどれくらいご理解しておられますか？ロースターの「ワイズ用語抜粋」にはこのようにあります。

「ワイズ新クラブ設立を目指すことを目的とする基金。YESプログラムの目的は新クラブ設立を進めるクラブ、会員を支援するためのもの。このプログラムへの献金は新クラブ設立支援に使われる。」とあります。

このYES献金に関しては、当初国際協会への全額送金からスタートをし、諸事取組の変遷を経て、現在は集まった献金額の約40%を西日本区が所属するアジア太平洋地域へ送金され、残り約60%は西日本区の特別会計の『YES基金』として積み立てられています。

### (2)新クラブ設立のための基金

現在、アジア太平洋地域(エリア)へ送金されたYES献金は、エリア内で新クラブが設立された際の支援金として使用されており、西日本区としてもエリアへの貢献をしております。また、西日本区特別会計のYES基金においても、新しいクラブ設立時に、スポンサークラブ、新クラブへそれぞれ支援金、祝い金として支給されています。

### (3)YES基金の新しい使い道

西日本区も会員数減少の危機的状況の中、新クラブ設立を含めたEMC活動の更なる活発化は必須の課題です。当基金を新クラブ設立時の支援金等へ使用する事は大切な使い道と考えます。但し、これまで新クラブの設立を目標とした活動やその他EMC事業への支援に使われた実績はありません。そこで私自身が、今期EMC事業主任に就任した時に、この基金をEMC事業でも使えるようにしたいと考え、検討を始めました。その結果、この特別会計の資金を、更なる事業へ支援金などの形で使用する為には、新たに資金運用細則を制定する事が適切であるとわかりました。今後より効果的なEMC事業が推進される為にも、これらYES基金の資金運用細則の策定をしていきたいと、現在検討をしております。

### (4)YES献金の重ねてのお願い

主任方針でも示しましたように、「1人あたり500円」を**2025年3月15日**期限で重ねてお願いいたします。通常はクラブ単位での献金ですが、過去には個人で献金して頂いた事例もあります。





# 国際・交流事業通信

2024-2025年度  
国際・交流事業主任

山田 滋己 (神戸ポート)

事業主題 『プラス1でさらなる交流促進を!』

## 【BF献金】

1人あたり  
目標: 1,500円

### BF献金の趣旨

#### BF: Building Fellowship (ビルディングフェロウシップ)

BFをソフトで翻訳すると”親睦を深める”、”仲間づくり”等があげられます。部や区内の仲間づくりは勿論ですが、国際協会の一員としてエリアや国際の仲間づくりも含まれています。また、国際のサイト(<https://www.y-men.org/our-work/programmes/building-fellowship/>)では”クラブ会員同士の親睦を深め、YMI運動におけるリーダーシップを鼓舞することを目的としている”と説明されています。国際での仲間づくりに繋がる機会、IBC交流、エリアや国際大会への参加が代表的と認識していますが、他にワイズ運動のリーダーになろうとする代表者を選出して送り出す事も一つです。この代表者の送り出しを支援することにBF基金(資金)が使われます(他にも一部、IYC 参加者への補助金、カーボンオフセットプロジェクトへの助成にも充当されます)。

”資金”ということは、当該の目的に投入し、活かされ、何か次に繋がる価値を生む、というものです。BF資金は現金や使用済切手等の形でご寄付頂き、事業に投入する、ご賛同頂いたクラブ、ひいてはメンバー一人一人のお気持ちがかもったもので、この気持ちが集結されて活かされる、とてもとても大切なものです。ぜひBF資金の目的、運用への理解を深めて頂き、自クラブから代表者を送り出す取組みや帰国後、西日本区内へ得られた知見を共有頂く活動等も含め、全員参加で実感を持ちながら献金もして頂けたら幸いです。

# 【EF献金】

## 目標:120CHF 合計3,000CHF

### EF献金の趣旨

---

#### EF:Endowment Fund

入会から未だ長く経っておられない方々、とりわけ新入会員の方々には、数あるY's用語の中、また一つよく分からない、と思われる用語ではないかと想像します。

”Endowment Fund”の略になりますが、そもそもY's以外で(一般的な)用語の意味を調べると、”(寄付された)基本財産”、”協会の収入となる資本金”等の訳が出てきます。

各事業(例えば、YMCAサービス・ユース(ASF)や地域奉仕(CS))に供されるものではなく、財政的に強いワイズダムを目指す目的で、国際議会(ICM)で決定され、YMI(Y's Men's International)の現在と将来の目的のために財政的支援と安定を提供し、特別なプロジェクト、エクステンション、運動の拡大を支援するものです。

これらの主旨から、その機会として、記念(永年表彰、IBC締結など)、追悼(会員のご逝去)、謝礼(卓話者の了解を得て辞退されたものを卓話者名で)等々があげられます。個人、もしくは、クラブのお気持ちによるもので、このお気持ちが結集され活かされる大切なものです。

ぜひEF資金の目的、運用への理解を深めながら献金する事で実感を得て頂く共に、機会を増やして頂けましたら幸いです。

---